



## 新年のご挨拶

「学習者がICTを活用して学びを深める授業」を当たり前にするために



日本デジタル教科書学会  
会長 片山 敏郎

明けましておめでとうございます。本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

昨年は、教育に関わるICT活用等の在り方がさかんに議論され、その方向が示されました。6月には、小学校段階におけるプログラミング教育の在り方についての議論の取りまとめ（文部科学省）が出され、12月には、「デジタル教科書」の位置付けに関する検討会議 最終まとめ（文部科学省）が出されました。同じく21日には、中央教育審議会から「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」が発表されました。その中では、急速に情報化が進展する社会の中で、情報や情報手段を主体的に選択し活用していくために必要な「情報活用能力」を、教科等を越えた全ての学習の基盤として育まれ活用される資質・能力の一つとして、各学校段階を通じて体系的に育てていくことの重要性が述べられています。この答申を基に今後学習指導要領が作られたり、その実現を支えるICTの整備計画が作られたりしていくことを考えると、ICTを活用した教育の一層の充実を期待したいところであります。

「主体的で対話的で深い学び」の授業づくりには、ICTが大変有効です。どの学校・学級でも、当たり前のよう学習者がICTを活用して学びを深める授業がなされるようになってほしいと思います。

最新のPISA調査の分析から、日本の子どもは他の先進諸国の子どもと比べて、ICTを活用した授業を受けることが非常に少ないことが明らかになりました。スマートフォンや携帯ゲーム機の普及はトップクラスですが、肝心の学びへの活用は著しく伸び悩んでいます。まさに、喫緊の課題であると言えるでしょう。

本学会はこれまでに東京、大阪、新潟、札幌、京都での5回の全国大会を始めとして、学会誌の発刊、各種研究会の主催、後援などを通して、教育におけるよりよいICT活用の発展に向けて、関係他団体と協力しながら取り組んで参りました。

今年は8月19日(土)、20日(日)に第一回大会と同じ、東京、青山学院大学において、6回目の全国大会を行います。ICTにかかわる教育の激動の時代です。研究的にも、一年で大きな進展があることでしょう。意義深い全国大会になることと思います。

本年も一層のご支援をよろしくお願ひいたします。



## 第6回日本デジタル教科書学会年次大会 東京大会のご案内



実行委員長 寺尾 敦

日本デジタル教科書学会会員みなさま、新年あけましておめでとうございます。目の回るような忙しさのうちに1年が過ぎ、お正月の一休みを経て、またご多忙な1年が始まることと存じます。

昨年の年次大会ですでに発表されましたように、2017年度の年次大会は青山学院大学（青山キャンパス）で開催されます。8月19日（土）と20日（日）の予定です。日本デジタル教科書学会設立記念全国大会が青山学院大学で開催されたのは、2012年8月18日（土）でした。それから5年という節目の年に、再び同じ会場で大会を開催できることをうれしく思います。

おそらくはすでにお読みになられたと思いますが、2016年12月に『「デジタル教科書」の位置付けに関する検討会議の最終まとめ』が文部科学省から公表されました。デジタル教科書の導入時期は、「デジタル教科書については、可能な限り、次期学習指導要領の実施に合わせて導入し、使用することができるようにすることが望ましい。」(p.14)とされました。小学校の場合、次期学習指導要領の実施は2020年度の予定です。

デジタル教科書としてすぐに連想されるのは、音声や動画などを利用したマルチメディア教材ではないかと思えます。しかし、数年後に導入されるデジタル教科書では、こうしたマルチメディア教材は教科書に含まれるものではなく、補助教材として位置づけられるようです(p.12)。最終まとめでの「紙の教科書とデジタル教科書の関係については、同一の学習内容を紙面に掲載するか電磁的記録として記録するかの違いであると捉え、その内容を示すコンテンツ部分のみをデジタル教科書の構成要素とすることが適当である。」(p.6)という記述は、紙の教科書のPDF版（ただし、リフロー程度のレイアウト変化はよい）がデジタル教科書であるように読めます。

これまでの紙の教科書とあまり変わりのないデジタル教科書が導入されることは、少しがっかりさせるニュースかもしれません。しかし、新しいものへの対応には学習が必要です。これまでとあまりに違うものは混乱を招く恐れがあります。「原則的には優れていると思えるものも、実世界に持ち込むと失敗することがある」(D. A. ノーマン『誰のためのデザイン？ 増補・改訂版』p.116)ものです。状況を徐々に変化させながらデジタル教科書を使用した教育を作っていくという方針は正しいと思います。

こうした状況において、われわれ日本デジタル教科書学会の会員は、「学習者用デジタル教科書・教材の可能性を信じ、学術的にその可能性を検証していく」(学会ウェブ)ことをこれまで通りに続けるだけです。最終まとめは、「現在、デジタル教科書を主たる教材として使用することは認められておらず、制度上、本格的な実証研究はできないことから、デジタル教科書の使用による効果・影響について、現時点で、客観的・定量的な検証を行うことは実際上困難である。」(p.7)というように実証研究の困難を述べていますが、「本格的な実証研究」でなくも、小さな実証の蓄積は真実を明らかにすることができます。青山学院大学での年次大会が、小さな実証の蓄積の場となることを願っています。



## ■ 講演会「DAISY/EPUB で実現するアクセシブルなデジタル教科書」開催のご案内

本学会主催の講演会『DAISY/EPUB で実現するアクセシブルなデジタル教科書（第3回）』を開催致します。  
開催の趣旨

デジタル教科書が備えるべき必須条件の一つである、アクセシビリティ確保に関する内外の最新情報について講演いただきます。また2016年12月公表予定の「デジタル教科書の位置づけ検討会議」の最終まとめなど踏まえ、参加者皆様の意見交換により今後のデジタル教科書の在り方について認識を深めることを目的とします。

今回は電子書籍の国際規格EPUBの策定主体であるIDPFのメンバーでもある「DAISYコンソーシアム」の河村宏氏。マルチメディアDAISY教科書の普及活動に携わってきた日本障害者リハビリ協会の野村美佐子氏。DAISY/EPUBフォーマットのデジタル教科書・教材の自動製作システムを開発している「シナノケンシ」の西澤達夫氏。同フォーマットのデジタル教科書・教材のモバイル端末用再生アプリを開発している「サイパック」の工藤智行氏の4名にご登壇いただき、内外の関連する最新情報の提供をしていただく予定です。

日 時：2017年1月22日（日）13時30分～16時45分

会 場：ウエスタ川越 1F 会議室 2・3（埼玉県川越市新宿町 1-17-17）

東武東上線または JR 川越線川越駅西口から徒歩 5 分

主 催：日本デジタル教科書学会 <http://js-dt.jp/>

参加費：500 円（資料代として）ただし日本デジタル教科書学会員は無料。

定 員：50 名

詳しいタイムテーブルや申込みなどにつきましては、以下のアドレスからご確認ください。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。<http://kokucheese.com/event/index/438592/>

## ■ 研究プロジェクト・研究グループへの研究費助成について

本学会では、会員の研究活動を支援するために、研究プロジェクト・研究グループへの研究費助成を行っております。会員の皆様の積極的な応募をお待ちしております。研究プロジェクトへの助成額は最大10万円、研究グループへの助成額は最大5万円です。研究プロジェクトでは本学会論文誌への投稿と本学会年次大会における発表、研究グループでは本学会年次大会における発表を求めるなど、応募の条件があります。詳細は学会ウェブサイト ([http://js-dt.jp/research\\_support/](http://js-dt.jp/research_support/)) をご覧ください。申請は随時受け付けております。ただし、本学会の研究助成に関する年度予算額の上限に達した時点で受付を終了いたしますのでご了承ください。皆様の積極的な取り組みを期待いたします。

## ■ 研究会開催助成について

本学会では、会員の皆様の主体的な研究会の開催支援、研究活動の活性化、研究の発展、会員相互の連携を促進すること等を目的に研究会開催助成を行っております。申請に関する詳細は本学会ウェブサイト ([http://js-dt.jp/seminar\\_support/](http://js-dt.jp/seminar_support/)) をご確認ください。会員の皆様の積極的な応募をお待ちしております。

## ■ 学会誌「デジタル教科書研究」への投稿のご案内

学会誌「デジタル教科書研究」は、研究者と実践者の自由な発想に基づき、デジタル教科書の発展の場として機能することを目的として刊行し、投稿論文の通年募集を行っております。

詳しくは、学会 HP (<http://js-dt.jp/学会図書館/学会誌「日本デジタル教科書研究」/>) をご確認ください。デジタル教科書研究およびその周辺領域研究に関わるみなさまの積極的な投稿をお待ちしています。